

授業科目名		担当講師名		対象学年	
解剖生理学Ⅱ・運動器		稲 源一郎		1年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	(14)	教室	前・後期	木曜日	3限目
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	骨格、関節、骨の役割				
到達目標	正常な人体の形態、機能を関連づけて系統的に理解し、生命への畏敬の念を育む。 人体を構成している骨格と関節、関節の動きについて理解する。				
事前学習	教科書を読んでおく。				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	第7章 身体の支持と運動（A、B、D～Gの骨格） 1. 骨学 総論 人間の骨について「骨格とはどのようなものか」 骨の携帯と構造、骨の組織と組成、骨の発生と成長、 骨の生理的な機能について学ぶ
2	2. 骨学 人間の骨について「関節」 関節の一般構造、関節の経常と可動性 関連疾患：O脚、X脚、変形性膝関節症、人工膝関節（TKA）
3	3. 体幹の骨格 脊柱、胸郭を形成する骨
4	4. 上肢の骨・下肢の骨・頭蓋骨 上腕骨、前腕の骨、手の骨と上肢の運動
5	骨盤、大腿骨、下腿の骨、足の骨と下肢の運動
6	5. 骨の役割 6. 関節の種類他
7	まとめ
8	終講試験
履修上の要件	特になし。 運動器の疾患については疾病と治療Ⅱで履修する。
テキスト、教材、参考書	医学書院 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学
成績評価の方法	筆記試験 筋、呼吸器とあわせて解剖生理学Ⅱの単位とする。
備考	